

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	蘇生と救急処置		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	三年次		学期及び曜時限	前期 火曜2限他	教室名	404教室
担 当 教 員	加藤智久 濱崎美文 他	実務経験と その関連資格	加藤智久:病院勤務時、臨床工学技士として勤務。呼吸療法認定士取得し呼吸管理の実務経験がある。			
《授業科目における学習内容》						
臨床の場で実施される蘇生法と救急措置(一時救命、吸引、呼吸リハビリテーション)を学び、普通救命講習を終了する。リハビリテーション実施時のリスク管理(患者の状態評価、感染リスク)を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(90点)と実技試験(10点)の合計100点で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書の指定はない。適宜、資料を配布する。						
《授業外における学習方法》						
資料を見直し、要点と手技を繰り返し復習する。						
《履修に当たっての留意点》						
患者の状態把握やリスク管理は非常に重要であり、必要な手技を正確に覚えること。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	バイタルチェックの方法と手技を理解して、実施できる。		教科書 血圧計、パルスオキシメーター、聴診器	事前に教科書を読んでおくこと	
	各コマにおける授業予定	バイタルチェックの方法と内容				
第2回	授業を通じての到達目標	リハビリテーションにおけるリスクを理解することができる		教科書	事前に教科書を読んでおくこと	
	各コマにおける授業予定	リハビリテーションにおけるリスク管理				
第3回	授業を通じての到達目標	疾患ごとの急変予測を理解することができる		教科書	事前に教科書を読んでおくこと	
	各コマにおける授業予定	疾患ごとの急変予測①				
第4回	授業を通じての到達目標	疾患ごとの急変予測を理解することができる		教科書	事前に教科書を読んでおくこと	
	各コマにおける授業予定	疾患ごとの急変予測②				
第5回	授業を通じての到達目標	リハビリテーションで遭遇しやすい症状の対処方法が理解できる		教科書	事前に教科書を読んでおくこと	
	各コマにおける授業予定	どのような急変を生じるか—遭遇しやすい症状とその対処法— ①				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	リハビリテーションで遭遇しやすい症状の対処方法が理解できる	教科書	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	どのような急変を生じるか—遭遇しやすい症状とその対処法— ②		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	医療機器の種類と見方を理解することができる	教科書	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	医療機器の種類と見方		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	心肺蘇生法について理解できる	教科書	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	心配蘇生法について		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	気管カニューレの取り扱いに関するリスクと感染管理の知識を理 解できる	教科書	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	気管カニューレの取り扱いに関するリスクと感染管理の知識		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	吸引の手技を理解し、実施できるようになる	教科書、シミュ レーター	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	吸引の基本と手技、それに伴うリスク①		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	吸引の手技を理解し、実施できるようになる	教科書、シミュ レーター	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	吸引の基本と手技、それに伴うリスク②		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	呼吸リハビリテーションの手技を理解し、実施できるようになる	教科書、聴診器、 パルスオキシメー ター	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	呼吸リハビリテーションの方法と手技①		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	呼吸リハビリテーションの手技を理解し、実施できるようになる	教科書、聴診器、 パルスオキシメー ター	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	呼吸リハビリテーションの方法と手技②		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	普通救命講習を修了すること	教科書、救命講 習のシミュレー ター	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	普通救命講習		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	普通救命講習を修了すること	教科書、救命講 習のシミュレー ター	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	普通救命講習		